

授業科目

公衆栄養学Ⅱ

【担当教員名】 村山伸子	対象学年	3	対象学科	栄養
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

公衆栄養学Ⅰ、Ⅱ、公衆栄養学実習Ⅰ、Ⅱを通じて、地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報および住民ニーズを収集分析し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。公衆栄養学Ⅱでは、公衆栄養マネジメントの理論、公衆栄養アセスメント、計画、実施、評価の理論と方法について修得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 公衆栄養マネジメントの概念と枠組みについて、イメージし、記述できる。
2. 対象や目的に応じた公衆栄養アセスメント（食事調査等）方法を選択できる。
3. データから地域の栄養課題を読み取り、栄養疫学的な解釈ができる。
4. 対象集団の課題や社会のニーズにあった目標設定、公衆栄養計画を立案できる。
5. 公衆栄養計画の評価計画を立案できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	公衆栄養マネジメントの概念、プロセス、アセスメント項目の設計	1, 2	講義
2	食事記録の面接確認と解析方法	2	講義
3	食事評価の方法（栄養素レベル、食品レベル、料理レベル）	2	講義
4	食事評価法：料理レベル（食事バランスガイドを用いた診断）	2	講義
5	食事評価法：栄養素レベル（食事摂取基準を用いた診断）	2	講義
6	栄養疫学（因果関係把握のための研究デザイン）	2	講義
7	まとめ（発表）	2	講義
8	公衆栄養マネジメントの方法	1, 3	講義
9	課題の把握と目標設定	3, 4	講義
10	目標から対策へのつながり	4	講義
11	自治体の栄養プログラムの種類	4	講義
12	自治体の栄養プログラムの例	4	講義
13	公衆栄養プログラムの評価	5	講義
14	まとめ（発表）	1-5	ディスカッション

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	食事調査マニュアルーはじめの一步から実践・応用まで、		日本栄養改善学会、南山堂	
	わかりやすいEBNと栄養疫学	佐々木 敏	同文書院	
参考書	食事調査のすべてー栄養疫学ー	Willett W.	第一出版	
	Evidence-based Nutrition EBN栄養調査・栄養指導の実際	佐々木 敏	医歯薬出版	
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席 20%	参加型の講義形式であるので、積極的に参加すること。論理的に考えることに慣れること。
積極的参加 20%	
期末試験 60%	

健康栄養学科 専門